令和8年飯田市議会第4回定例会　一般質問通告表

令和8年12月3日、4日

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
1	岡 村　弘 子 （公 明 党） 【　40　分　】	1　誰もが安心して暮らすことができる社会について (1) 婚活支援の推進について ① 婚活支援について ア 支援の概要は イ 相談者の現状は ウ 支援の好事例は ② ライフデザインセミナーについて ア 目的と開催状況 イ 参加者の受け止めはどうか ③ 支援の課題について ア 支援を市民に浸透させる取組は イ ながの結婚マッチングシステムに対する登録料の補助制度導入は ウ 相談員に対する支援拡充の考えは エ 支援の成果について市はどのように認識しているか オ 課題に対する捉えと今後の取組は (2) 子宮頸がんの予防について ① ＨＰＶワクチンの接種率は ② 対象者及び保護者への情報提供の実態は ③ 子宮頸がん予防及びワクチンに関する正しい知識の理解を目的とした学校での出前講座の実施をする考えは
2	市 瀬　芳 明 （日本共産党） 【　30　分　】	1　介護人材の確保について (1) 市内介護事業所における人材不足と外国人介護人材の受入状況は ① 介護人材について

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
	市瀬　芳明 (日本共産党) 【　30　分　】	ア　今年度実施した介護人材確保に係る事業所アンケートの結果では、39人の職員不足が示された。この不足数について、職種別、サービス種別等の内訳は イ　現在の人材不足と2040年を見据えた介護サービス需要を踏まえ、第10期介護保険事業計画では必要な介護人材数と確保目標をどのように考えるか ②　外国人介護人材の受入状況と現場の課題について ア　市内介護事業所における外国人介護人材の受入状況と今後の受入れの意向は イ　外国人介護人材の採用経費、受入体制、日本語教育、資格取得支援など、現場が抱える課題をどのように認識しているか (2) 外国人介護人材の確保と定着に向けた支援は ①　飯田市における生活環境上の課題は ②　長野県の補助制度の活用と市独自の支援についての考えは ③　地元養成校との連携による外国人介護人材の育成と定着について ア　外国人留学生を含む介護人材の育成について、地元養成校の受入れの意向は イ　地元養成校や介護事業者等と連携し、介護福祉士資格取得から市内就職・定着までを一体的に支援する仕組みを検討する考えは 2　介護保険外サービスの充実と情報共有について (1) 介護保険外サービスの実態把握と情報提供は ①　市内における介護保険外サービスの実態は ②　介護保険外サービスの周知と情報共有について ア　介護保険外サービスに関する情報をどのように周知・共有しているか イ　サービス内容、料金、利用条件、対応地域等を一元的に整理し、必要な人が利用できる情報提供の仕組みを構築する考えは
3	片町　元彦 (会派きぼう) 【　30　分　】	1　三遠南信自動車道の開通を見据えた地域づくりについて (1) 三遠南信自動車道の整備状況について

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
	片 町　元 彦 (会派きぼう) 【　30　分　】	①　(仮称) 青崩峠トンネルについて、国から聞いている現在の進捗状況は ②　三遠南信自動車道をどのような意義をもつ道路と捉えているか (2) 遠山郷のポテンシャルと今後の取組について ①　三遠南信自動車道開通後の遠山郷の地域としての可能性は ②　三遠南信地域の連携を県境を越えた自立した圏域づくりへと発展させるため、今後の展開は 2　市道上村１号線について (1) 上村１号線の崩落について ①　市は上村１号線をどのように位置付けているか ②　令和８年４月24日の法面崩落により通行止めとなっているが、崩落の危険性の把握状況は ③　復旧事業の内容と工事の完成時期は (2) しらびそ高原の施設等への影響について ①　通行止めにより、しらびそ高原の施設にはどのような影響があったか ア　施設の利用者数や営業への影響は イ　支援の状況は (3) 例年、冬季通行止めとなっているが、今後「星空保護区」認定となった場合の対応は
4	大 平　雲 龍 (会派きぼう) 【　30　分　】	1　地域資源を活かしたスタートアップ促進と空き家活用の戦略的統合について (1) スタートアップ支援と空き家活用の連携、その後の進捗と今後の方向性は ①　庁内における分野横断的な連携を市としてどのように捉え、取り組んでいく考えか ②　新たな制度の創設や既存制度の具体的な改善など、庁内においてこれまでどのような検討や関係部署間の連携が行われてきたか ③　これまでに具体化された取組や、空き家の利活用・起業支援につながった相談や支援の事例など、現時点でどのような成果があるか ④　こうした取組を具体化するための予算や制度について

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
	大 平　雲 龍 (会派きぼう) 【　30　分　】	ア　令和８年度において、どのように進められているか イ　令和９年度に向けて、これらの取組をどのように発展させ、どのような方向性で進めていこうと考えるか ２　地域資源を活かした持続可能な地域活力と賑わいづくりについて (1) 市が描く、地域資源の活用と循環による持続可能な地域活力と賑わいづくりの将来像は
５	正 木　利 幸 (新政いいだ) 【　40　分　】	１　地域計画（地域農業経営基盤強化促進計画）について (1) 地域計画という政策が生まれた背景をどのように認識しているか (2) 農業者から見て地域計画を実行することにより、どのような課題が解決されると認識しているか (3) 地域から見て地域計画を実行することにより、どのような課題が解決されると認識しているか (4) 2025年３月までに策定された地域計画だが、その後の変更・更新の状況は (5) 地域計画の現状は ① 10年後の担い手が位置付けられていない農地面積はどのくらいあるか ② 10年後に農地として存続すべき、という地域の話合いはなされているか (6) 10年後の農地維持に向けて、どのような対策が考えられるか (7) 今後の取組計画は
６	関 島　百 合 (会派きぼう) 【　30　分　】	１　令和９年度予算編成の基本方針の考え方について (1) 令和９年度予算編成の基本方針にある「人口減少に対する『前向きな適応』の視点」とは ① 令和８年度にスタートした「公共施設等総合管理計画」をどのように進めていくのか。また、市民の利便性をどう考えるのか ② 進めるための環境は ③ 令和９年度の重点をどこに置くのか ２　職員の人材育成について

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
	関島　百合 （会派きぼう） 【　30　分　】	(1) 「飯田市人財育成基本方針」はどのように運用され、どのような成果が得られているか (2) 「人口減少に対する『前向きな適応』の視点」を進める上で不可欠となる、職員の意識と能力をどう高めていくか (3) 策定から８年が経つ「飯田市人財育成基本方針」を見直す必要があると考えるがどうか
7	遠　山　　雄 （会派きぼう） 【　30　分　】	１　リサイクルについて (1) 不適物を減らすための取組状況は (2) リサイクルの透明性は ２　エネルギー、コスト、ＣＯ２について (1) 分別回収している場合のコストと、焼却に回した場合の発電収入の試算は (2) 分別回収した場合と、焼却に回した場合のＣＯ２排出量の比較検証は ３　環境文化都市の理念について (1) 環境をどのように捉えているか (2) 住みやすい環境とは
8	松　岡　秀　治 （会派きぼう） 【　30　分　】	１　多文化共生社会の取組について (1) 飯田市多文化共生社会推進計画について ①　長期的な視点での課題を市はどう考えているか ②　市民の役割と地域社会への参画について市は現状をどう捉えているか (2) 外国籍の納税義務者に関わる市県民税及び国民健康保険税について ①　市県民税及び国民健康保険税の滞納額について、市全体と外国籍納税義務者の直近５年の推移は (3) 外国籍労働者の状況について ①　どの程度把握しているか ②　事業所の在籍状況の把握は (4) 外国籍労働者を受け入れる際の事業者や事業者団体などと市との情報交換や連携は (5) 飯田市多文化共生社会推進計画第４次改訂に向けた市の考えは

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
9	野 崎　直 仁 （ 無 会 派 ） 【　40　分　】	1　リニア駅建設予定地前広場（通称リニア駅前広場）の整備、活用について (1) リニアがいつ開業するかわからない中でのリニア駅建設予定地前広場の活用に関して ① 広く市民の意見を聞く必要があると考えるが、その場が十分に確保されているか ② 市としてはどのような活用が良いと考えるか (2) 飯田・リニア駅前広場プラットフォームについて ① 目的とスケジュールは ② 利害関係になく、運営事業体にも参加しない一般市民の参加者の割合はどのくらいで、その方々の議論への参加具合はどうか ③ 目的とスケジュールがきちんと達成されていると考えるか (3) リニア駅前広場交流施設（仮称）について ① 実施設計に入ったリニア駅前広場交流施設に関して、プラットフォームでの議論はどのように反映されているか ② リニア駅前広場交流施設内には地区のコミュニティセンターが入るとのことだが、この件に関するプラットフォーム、ワーキンググループでの議論はどうか ③ 市民全体のための広場に特定の地区のコミュニティセンターが建設されることは市民の理解が得られないと思うがどうか ④ 各地区のコミュニティセンターは地元への払い下げが進んでいるが、公費による新規の建設はその方針に逆行し市民に不公平感を持たせると考えるがどうか ⑤ 地区からのコミュニティ施設の建設要望は本来市民協働環境部が受け付けると思うが、何故リニア推進部が受け付けているか